

令和2年6月25日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）ICTを活用した個々の能力を引き出す教育の推進について

県では、来年度からすべての県立高校の新入生に対し、ICT端末を1人1台使えるようにするとのことだが、これを機会に、今後、画一的な授業の在り方を変革させる考えがあるのか、また、個々の能力を最大限に引き出すための、ICTを活用した教育の在り方についてどのように考えているか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

本県では、全国に先駆けて「課題発見・解決学習」など「学びの変革」に取り組む、これまでの知識ベースの学びに加え、学習者基点の能動的で深い学びである「主体的な学び」へと改善を進めております。

このため、画一的な授業ではなく、個別最適な学びの実現に向けて、生徒一人一人の学習進度や能力・関心等に応じた授業づくりに取り組んでいるところでございます。

こうした中、課題発見・解決学習を展開する授業づくりにおきましては、教員が単元を貫く本質的な「問い」を設定し、生徒がその追究のために必要な情報を収集・整理・分析する力や、表現する力などを身に付けさせるため、ICTを有効に活用しているところでございます。

県教育委員会といたしましては、ICTの活用は、「学びの変革」を推進する上で有効なツールの一つとなると考えており、引き続き、学校での活用機会の拡大と、より効果的な活用方法の研究を進めてまいります。